Tokushima ROFUKUKYO

労福協NEWS

2017.1　No.82

輝く未来に向けて
子どもたちに夢を！笑顔を！

昨年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、2年目を迎えた本制度の定着と発展に向かい、積極的に推進していかなければならない。

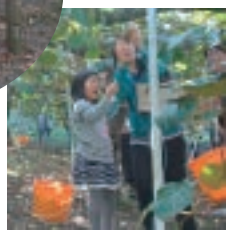
誰もが排除されず、社会とのつながりの中で自立できる社会や地域作りにつながるよう幅広い協働のネットワークを構築しなければならない。

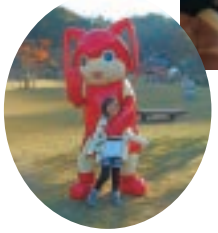
しかし、国では、労働分野の規制緩和や生活保護費の切り下げ、そして奨学金問題など数多くの格差や貧困を助長する政策が行われている。

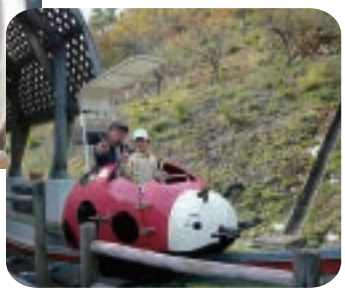
県民の暮らしの底上げと雇用の安定や格差と貧困の是正に向け、県民とともに連帯して取り組んでいかなければならない。

第24回労働者福祉メーデーに結集した私たちは、県民と働く者のとくしまフェスタ2016を勤労者県民運動として発展させ、人と暮らし、環境に優しい福祉社会の実現を目指して全力を挙げることを宣言します。

県民と働く者のとくしまフェスタ2016
2016.11.29「第24回労働者福祉メーデー宣言」より







写真：県民と働く者のとくしまフェスタ 2016 より

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の６団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

連合徳島 日本労働組合総連合会徳島県連合会
ずっと永く 四国ろうきん
保障のことなら 全労済
公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク
わーくびあ徳島
公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

労福協

新年のごあいさつ

徳島県労働者福祉協議会
会　長　川越敏良

新年のお慶びを申し上げますとともに、皆さま方にとって、この一年が希望に満ち、将来への確かな一年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年中は、労働者福祉協議会の組織運営と事業運営にご理解をいただき、ご支援・ご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

労福協は、昨年一年間の取り組みを振り返るとき、次の時代への確かな一歩を刻んだ一年であったと思っています。

事業運営の分野では、一昨年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、事業の違いはありながらも徳島県をはじめ徳島市・鳴門市・小松島市・阿南市から引き続き事業受託をして、事業の充実に努めながら、実績を拡大させることができ、新たな事業受託もあり、その定着化を図ることができました。

また就労支援分野では、阿南にも無料職業紹介所を設置して、就労支援事業を充実させるとともに、ジョブカレッジも体制を充実させ、各種訓練事業を拡大させてきました。

高齢者福祉を担う介護事業も、新たな事業展開を試みるなど、社会や法の動きに対応した態勢づくりに取り組みました。

障がい者のための運転免許取得特別講座や定住外国人就労・社会参加促進事業についても様々な関係者の支援の中で、財源等厳しい中ですが、確実に前進させることができています。

その他次世代育成支援のための職場環境整備事業や若年者早期離職対策事業など各種の受託事業も順調に推移しています。

一方で、厚労省事業である地域若者サポートステーション事業については、様々な工夫にもかかわらず新規登録者の減など事業の拡大を図ることができていません。新年度における事業の枠組み変更も予想される中で、事業のあり方が問われています。

組織運営については、理事者と職員の間の意思疎通に努め、新たに賃金や労働条件の改善に向けた制度整備を行うなど、より一層の組織の強化に努めてきました。

これらの取り組みができましたのも、関係者各位のご支援とご協力の賜と改めて感謝を申し上げる次第です。

今年の課題は、労福協事業のより一層の深化と進化であります。今の日本社会における格差と貧困の拡大は、子どもや若者、そして女性や高齢者など社会的弱者を直撃しています。

労福協は、与えられた役割をしっかりと自覚して、労働者福祉事業団体間の連携事業に取り組むとともに、そのノウハウとスキルを発揮して受託事業にしっかり取り組んでその成果を生むこと、そして新たな事業の展開へ向けてアンテナと感性を高くして取り組むことが求められています。

引き続き、関係各位のご理解とご協力・ご支援をお願いし、本年が皆さま方にとってより良き一年でありますことをご祈念申し上げます。

2016年度徳島県労働者福祉協議会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	川越敏良	全労済徳島県本部
副会長	河村和男	四国労働金庫
〃	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
専務理事	林善章	徳島県労働者福祉協議会
理事	久積育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	福本純	徳島県労働福祉会館
〃	尾方巧	フレッセ
〃	梶原樹	徳島県生活協同組合連合会
〃	山藤正義	徳島県退職者連合
〃	国見聖	徳島県民間産業労働組合連合会
〃	辻博史	徳島県就職支援機構
監事	奥田浩次	四国労働金庫徳島営業本部
〃	藤原茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
〃	川原佳子	徳島県勤労者福祉ネットワーク

連　合

新年のご挨拶

日本労働組合総連合会徳島県連合会
会　長　森本佳広

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、連合徳島の運動に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、年初にはほとんどの人が予想できなかったことが起こった年であったと思います。EU離脱を決めた英国の国民投票をはじめ、米国の大統領選挙、つい最近では、オーストリアの大統領選挙で極右政党の候補者が47%近い支持を得るなど、世界の政治経済の今後に大きな影響を及ぼす出来事が相次ぎました。グローバル化による負の側面としての産業や雇用の空洞化、格差や貧困の拡大によって、社会から取り残されたと感じる人々の不満や怒りが既存の政治に対する異議申し立てにつながっているとの見方は、これらの動きの本質を言い当てていると思います。そうした中、政治家の手法も、内外を問わず極端な言動で不満や怒りをあおる傾向が強まっているように感じられます。

しかし、それでは社会の分断や排除を助長するだけです。いま政治に必要なのは、持続的で包摂的な社会に向けた責任ある行動、そして丁寧な対話と発信です。労働運動もまた、国内外の情勢が不確実さを増し、雇用や生活に対する不安が渦巻いている時こそ「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で働く者の頼りとなる存在」として、より一層の能動的な行動で、世の中の期待に応えていくことが求められています。

私たち連合が中心となって進めていく2017春季生活闘争は、いわゆるアベノミクスの幻想から脱却し、労使の知恵と努力を結集して「経済の自律的な成長」を目指すとともに、社会の安定性の確保に向けて、この間生み出してきた「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続し、さらに広がりを持たせるためのたたかいです。

同時に、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から「働き方」「働かせ方」の見直しを進めることも重要です。連合ならではの春闘期の取り組みと「5万人連合徳島」の達成に向けた組織拡大の営みを連動させ、労働組合の良さ、労使関係の大切さをあまねく広げていかねばなりません。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、一人ひとりが自らの雇用や生活と政治・政策とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンをはじめ、地域活性化を促す「地域元気フォーラム」の継続的な開催など「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を拡げるべく、お互いに努力を重ねていくことが重要であると考えます。

今年が皆様方にとりましてよき年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合の運動に対する皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

〈連合徳島2016～2017年度役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	森本佳広	自治労
会長代行	新居栄治	電機連合
副会長	藤岡一雄	自治労
〃	田村敬一	JP労組
〃	鎌谷浩司	電力総連
〃	矢鳴浩一	UAゼンセン
〃	松本光弘	自治労（県職労）
〃	川口誠二	情報労連（民間大手部会）
〃	宮本武司	交通労連（中小部会）
〃	吉野泰甲	全水道（官公労部会）
〃	下則子	電機連合（女性委員会）
事務局長	島和久	電力総連
副事務局長	板東喜代子	事務局
〃	田北光広	全国一般
〃	山本雅敏	交通労連
財政局長	小谷正勝	JAM
中小対策本部長	宮本武司	交通労連
執行委員	平田信行	自動車総連
〃	繁岡幸広	農協労連
〃	川村将史	運輸労連
〃	原田俊彦	全国一般
〃	井内貴志	JR連合
〃	松本忠宏	私鉄総連
〃	三木崇之	基幹労連
〃	石橋元	JEC連合
〃	國見康喜	国公総連
〃	小原伸二	県教組
〃	藤田晶子	UAゼンセン（女性委員会）
会計監査	後藤和昭	森林労連
〃	田村貴之	四国労金労組
〃	難波博史	全労済労組

ろうきん

新年のご挨拶

四国労働金庫
理事長　小川　俊

新年あけましておめでとうございます。

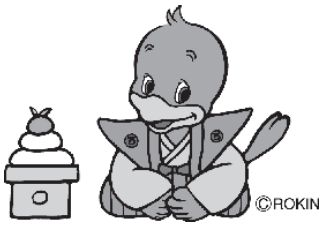
皆様方には、ご家族と共に新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますと共に、今年が幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。

四国の人口動向は、2000年の4,154千人から2015年国勢調査では3,878千人となり、276千人減少しています。この先、2030年には3,331千人まで減少すると予想されています。人口減少は市場の縮小と経済の衰退を招きます。金融業界では「日銀のマイナス金利政策」が更なる追い打ちをかけ、金融庁は10年後、地域金融機関の6割が赤字化するとして日銀に懸念を伝達しました。そして、「銀行店舗の営業時間を自由化」し、過疎地域でも店舗を閉鎖せずに営業時間短縮を可能とする規制緩和を行い、銀行経営と店舗の維持を後押しする状況になっています。

このような中、「四国ろうきん」も事業継続を合言葉にブロック営業・グループ改革を始めとする多くの改革に取り組んでいます。どの改革も会員サービスを低下させず、効率化を図り収益を確保するためのものです。銀行と違い利益を利用者に還元する「会員組織の金融機関」「はたらく仲間が作った福祉金融機関」は地域で絶対生き残っていかなければならないと思っています。改革にあたっては会員皆様と情報共有し確認し合い、ご協力いただける事業運営を心掛けてまいります。

役職員一同、働く人達の金融面での生活応援組織である「四国ろうきん」の役割を肝に銘じて仕事をしてまいります。

今年もより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



【徳島地区選出理事・監事】

専務理事	住友誠教	（員　外）
常務理事	河村和男	（パナソニックヘルスケア労組脇町支部）
理　事	藤岡一雄	（自治労徳島県本部）
理　事	田村敬一	（JP労組徳島西支部）
理　事	川口誠二	（情報産業労組連合会徳島県協議会）
監　事	尾関　定	（ジェイテクト労組徳島支部）

【徳島営業本部・営業店】

本部長	河村和男	副本部長兼徳島支店長	大久保達夫
池田支店長	今治五百合	徳島北支店長	遠藤好人
阿南支店長	山本真史	鴨島支店長	板東啓太郎
徳島LC所長	尾崎好英	徳島北LC所長	小谷博文

※LC＝ローンセンター

全　労　済

格差と貧困の拡大に抗し、共生と安心の社会へ

全労済徳島県本部（徳島県共済生協）
本部長（理事長）　川越　敏良

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、全労済の運動と事業の前進・拡大にご理解をいただき、ご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

本年が皆さまにとって希望に満ちた明るく幸多き一年となりますことを祈念いたします。

昨年は、例年以上に地震や風水害など様々な自然災害が多発し、多くの人命が失われ、そして地域や産業に甚大な被害を受けました。徳島でも台風１６号によって少なからずの被害を受けました。被災された皆さまに、心からのお見舞いを申し上げます。

私たちは、自然災害の発生を抑えることはできませんが、その被害を少なくする知恵を持ち合わせています。過去の災害は、発生した時にいかにその被害を抑えるかという「減災への備え」と、万一被害を被った際の「再建への備え」が重要であることを再認識させてくれます。皆さま方のしっかりとした準備をお願いする次第です。

また、社会経済情勢についても大きく変動をした一年でありました。景気浮揚策としてのマイナス金利の導入は私たちを驚かせるとともに、預金金利の低迷で、なけなしの預金もほとんど効果をもたらさない事態となりました。

春季生活闘争で一定の成果はありつつも、格差は拡大傾向にあり、非正規労働者の増加に歯止めはかからず、そのためワーキングプアの数も増加しています。このことは貧困層の拡大と世代を超えた貧困の連鎖という課題を生み出しています。

また、憲法違反とされる集団的自衛権の発動を前提とする安保法制の改定が昨年強行されましたが、これに基づいて駆け付け警護を前提とする自衛隊派遣が行われました。このことは、いよいよ戦争を前提とした自衛隊の活動が始まり、戦争に巻き込まれることになった日本に「安全」な地域はなくなったことを意味します。

このような政治・経済・社会情勢の中で取り組むべき課題は、一つは労働組合が軸となりつつ社会変革をめざす運動の拡大と政治勢力を変える運動の強化です。

また一つは、労働者・勤労者の生活防衛と、格差と貧困の拡大に歯止めをかけるために共済事業をはじめとする共助の運動の拡大です。

全労済は、共済事業を通じて「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」を実現すべく、各種共済利用によって、万一の事態に対応できるように、生活の下支えをして参ります。

そして、全労済設立60周年となる今年９月には、地域と組合員により密着した新たな組織と体制でスタートします。その体制のもとに、将来に向かってより身近で安心できる全労済として引き続き活動を強化して参ります。

今年も引き続き皆さま方のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

〈2016年度 全労済徳島県本部経営委員会　役員体制〉

2017年1月1日 現在

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
本部長	川越　敏良	全労済徳島県本部	経営委員	新居　栄治	中部地区（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾍﾙｽｹｱ労働組合協町支部）
副本部長	藤岡　一雄	自治労共済徳島県支部	経営委員	水田　幸雄	鳴門市役所職員組合
副本部長	新居　良雄	全徳島建設労働組合（フレッセ）	経営委員	磯田　稔	UAｾﾞﾝｾﾝ四国化成徳島労働組合
専務執行役員	渡邉　一雅	全労済徳島県本部	経営委員	松本　光弘	徳島県職員連合労働組合
経営委員	松永　勉	UAｾﾞﾝｾﾝ東邦テナックス労組徳島支部	経営委員	川村　将史	全日通労働組合四国支部徳島協議会
経営委員	米里　正行	自治労徳島市職員労働組合連合会	経営委員	東條　光洋	徳島県教職員団体連合会
経営委員	尾関　定	北部地区（ｼﾞｪｲﾃｸﾄ労働組合徳島支部）	経営委員	田北　直樹	徳島県高等学校教職員組合
経営委員	益田　英明	UAｾﾞﾝｾﾝ日清紡績労働組合徳島支部	業務検査委員長	宮本　武司	交通労連　四国高速運輸労働組合
経営委員	岩生　大治	徳島バス労働組合	業務検査委員	鎌谷　浩司	四国電力労働組合徳島県本部
経営委員	山田　知弘	西部地区（徳島県公立学校教職員組合）	業務検査委員	鈴木　圭吾	自治労徳島県本部
経営委員	三木　裕子	全国一般徳島地方労働組合	オブザーバー	亀田　真	東部地区（徳島市交通労働組合）
経営委員	鎌田耕一郎	新日本電工労働組合徳島支部			

勤労者福祉ネットワーク

2017年ごあいさつ

(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク
理事長　久積育郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望を持って新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当財団の諸事業に対し、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2017年は、想像もしなかった世界規模での大きな変動の中での幕明けとなりました。

世界はこの大きなうねりと共に、さまざまな“壁”がつくられようとしています。グローバリズムと新自由主義は、絶望的な格差と疎外感による深刻な“新しい壁”まで生み出そうとしているのです。

トランプが勝利した昨年11月のアメリカ大統領選挙は、1933年のドイツ総選挙におけるヒトラーの登場を想起させるとも言われています。まさに激変する時代の再来を予感させます。

また、本年は、日本国憲法施行70年の年にあたります。世界に類を見ない日本の平和憲法とその意義を今こそしっかりと再認識することが問われていると思います。

このような中で迎えた2017年、当財団にとっての重点課題は、

(1)　“結婚したい”をサポートする県民活動としてのマリッサとくしま（とくしまマリッジサポートセンター）の本格的な事業拡大

(2)　ファミリー・サポート・センターによる“病児・病後児預かり”をはじめとする子育て支援事業の拡充

(3)　“ほっとけん・なんとかでけんか・なんとかせな”の思いを支援するハートフルゆめ基金とくしまの育成と財団法人化の検討

(4)　あわ～ず徳島の更なる事業拡充と県下全域での事業拡大

(5)　“もったいない”から”ありがとう”への、フードバンクとくしまと、いきいき安心子ども食堂の推進、”広がれ！こども食堂の輪”全国ツアーin徳島の開催

(6)　憲法施行70年を節目に、改めて日本国憲法の基本精神と向き合うフォーラムの開催

などであります。

激動する世界、少子高齢化の人口減少社会へと突き進む日本の中にあって、当財団は設立の原点である、人々の連携を軸とした“共助・共生の福祉社会”へ向け、県内における勤労者福祉を担う唯一の公益財団法人として、更に力強く、前進を続けたいと考えています。

新年にあたりまして、皆様のご健勝ご活躍を祈念すると共に、当財団への更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

〈(公財) 徳島県勤労者福祉ネットワーク役員〉

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
理事長	久積育郎	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	理事	三宅祥壽	徳島県町村会・常務理事
副理事長	柿内愼市	徳島県経営者協会・会長	〃	石井一	徳島県商工会議所連合会・専務理事
〃	川越敏良	(公社)徳島県労働者福祉協議会・会長	〃	脇田亮	徳島県商工会連合会・専務理事
〃	小笠恭彦	徳島県商工労働観光部・部長	〃	河村和男	四国労働金庫・常務理事
専務理事	元川仁	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	〃	藤原学	(一社)徳島県労働福祉会館・理事長
常務理事	川原佳子	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	監事	武田勝行	税理士
理事	上地幸博	徳島県社会福祉士会・会長	〃	蔭山眞應	徳島県中小企業団体中央会・専務理事
〃	小泉吉太郎	徳島県市長会・事務局長	〃	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会・会長

労働福祉会館

謹賀新年

労働福祉会館理事長
藤原　学

会員の皆様には、つつがなく新しい年を迎えられたことをお慶び申し上げます。日頃は、わーくぴあ徳島に対しまして、多大なるご協力とご指導を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、2017年は、昨年の米国大統領選挙の結果、今日まで「国際秩序」として守られてきたものが大きく変化し、国内的にも政治や社会に対する影響が想定されます。特に、危惧されることは、「改革独裁的な風潮」が急速に広がり、極めて不安定な国際社会に変貌し、その結果、経済的な価値観や多様な文化、人権等お互いが認め合い共生社会を創ろうとしてきたものが、ある種崩壊しかねない危険性が指摘されています。一層複雑化する国際社会への対応として、複眼的視点を有するイノベーションの創出と民主主義のもとに国家を再生する更なるカウンターデモクラシーが求められると言えます。

わーくぴあ徳島は、労働者の砦として設立46年を迎えることになります。「将来の新館建設を展望した検討委員会」において老朽化している会館の方向性を検討し、引き続き、第2期中期経営計画答申に基づき運営することと同時に、会員・多くの市民に親しまれ利用いただける会館としてサービスの向上に努めてまいります。

また、公益目的支出事業としての「社会運動資料センター事業」は、社会的な課題を取り上げた公開講座の開催、賀川豊彦をはじめとする社会運動や労働運動等に関する資料、団塊の世代の書籍・資料等貴重な資料の散逸を防ぎ、後世の運動の参考とすることを目的に収集活動を進めています。

本年もわーくぴあ徳島の諸事業に対しまして、なお一層のご指導とご協力をお願い申し上げ、年頭にあたってのご挨拶といたします。

2016年度徳島県労働福祉会館役員一覧

役職名	氏名	現在の所属
理事長	藤原　学	徳島県労働福祉会館
副理事長	久積　育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
常務理事	福本　純	徳島県労働福祉会館
理事	川越　敏良	全労済徳島県本部
〃	河村　和男	四国労働金庫
〃	森本　佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
〃	辻　博史	徳島県就職支援機構
監事	渡邉　一雅	全労済徳島県本部
〃	奥田　浩次	四国労働金庫

フレッセ

2017年 年頭のご挨拶

フレッセ執行委員長
尾方　巧

新年明けましておめでとうございます。日頃はフレッセの諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは一般勤労者に比べて不十分な福利厚生面を補うために、国民健康保険や労働保険、組合共済などを中心として、建設に従事する仲間の仕事と生活を守る取り組みを進めてきました。

また、大きな経済効果を生み、地域の活性化にもつながる「リフォーム助成制度」の創設や拡充、低い賃金水準の下支えとなる公契約条例の制定に向けた取り組みを進めています。

昨年は4月の熊本地震にはじまり、鳥取県中部、福島県沖とたて続けに大地震に見舞われました。昭和南海地震から70年、東日本大震災から5年という節目の年であり、改めて災害への備えが再認識された1年でした。県民の命を守るための住宅の耐震化は、待ったなしの状況です。

組合でも耐震シェルターの普及や耐震改修を通じて貢献していきます。

組合や仲間を取り巻く状況は、依然きびしく、慢性的な後継者不足、都市と地方の格差の拡大、建設従事者の高齢化等々、乗り越えなければならないことは山積みです。

これまでに培ってきた仲間からの信頼と支持のもと、県内で働く建設労働者・職人の仕事と生活を守るための取り組みを進めていきます。

今後ともフレッセの活動に対しまして、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

役職名	氏名
執行委員長	尾方　巧
副執行委員長	大地　均
〃	山室邦宏
書記長	新居良雄
財政部長	中山邦正
執行委員	中　敏昭
〃	秋山　威
〃	相原　隆
〃	井原　弘
〃	長谷部尊之
〃	白土義信
〃	富永和博
〃	楠野　進
〃	川上　泰
〃	大溝典幸
〃	住友　寛
〃	西野慶憲
〃	重本義夫
〃	向井行雄
青年部長	富永和博
会計監査	濵　誠司
〃	伊藤好威
〃	多田　勲

徳島県生活協同組合連合会

2017年迎春のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会
会　長　多田道代

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新たな希望と共に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、私ども連合会に多大なご支援ご協力を賜りありがとうございます。

昨年は、世界的にもテロ行為が頻発し、安全保障関連、原発再稼働など、国内でも私たちの生活に直結する重要な決定が散見されました。誰もが願う世界平和を脅かす情勢が今も続いています。また夏には参議院選挙もあり、与党圧勝の結果に一抹どころか、かなりの不安を覚えた方はきっと多かったと思います。11月には２年に渡る選挙戦の末、大逆転でアメリカ大統領にドナルド・トランプ氏が当選し、まもなく就任式の運びです。多くを語るまでもなく、これからの日本に、私たち国民に、県民にどのような影響があるのか、はなはだ不透明です。

今年は様々な社会情勢にアンテナ高く目を配り、学習もしながら、消費者生活者の、また地域社会の日々の暮らしに寄り添い、平和な明日を希求し続けたいと思います。

皆様の益々のご活躍ご多幸を祈念するとともに、当連合会へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

役職名	氏名	所属単協名
会長	多田道代	生活協同組合とくしま生協
副会長	川越敏良	徳島県共済生活協同組合
専務理事	梶原樹	生活協同組合とくしま生協
理事	木津正憲	徳島県学校生活協同組合
理事	渡邉一雅	徳島県共済生活協同組合
理事	工藤豊子	徳島健康生活協同組合
理事	山本浩史	徳島健康生活協同組合
理事	八木史仁	生活協同組合コープ自然派しこく
理事	鳥養美文	徳島県職員生活協同組合
理事	高橋敬司	徳島大学生活協同組合
理事	細川尚光	生活協同組合とくしま生協
監事	吉野才治	徳島健康生活協同組合
監事	宮本久恵	生活協同組合コープ自然派しこく
監事	長尾文明	徳島大学生活協同組合

徳島県退職者連合

新年のごあいさつ

徳島県退職者連合
会　長　小笠原　幸雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、退職者連合の活動に対し、格別のご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

新しい年に当たり、当面の活動方針を紹介させていただき、ご挨拶と致します。

全国で80万人を擁する日本退職者連合は、昨年７月定期総会を開催し、向こう１年間の運動方針を決定しました。

その方針の中心は、社会保障の整備です。

このところ高齢者を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しています。

65歳以上の高齢率は、全国では27パーセントで、県としては30パーセントをオーバーしており、３人に１人が高齢者となります。

更に中山間地が多いため、幾つかの集落が消えており、市町村や民生委員、社協、自治会、ＮＰＯ等、ボランティアの活動に援助されて生活しているのが実態です。

また人口の高齢化が進めば、年金、医療、介護などの費用がかさむのは当然です。

2017年度の社会保障費は、医療、介護などで、1400億円削減する方向で検討されており、年金支給額を抑制する「年金改革法案」は衆議院の審議で強行採決により成立の予定です。

高齢者に対する年金支給額の削減は、高齢者の生活破壊を招きかねず、慎重な扱いを期待します。

本年も、労働者福祉協議会の活動が益々発展されるよう祈念すると共に、私たちの活動に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願いし、新年のご挨拶と致します。

〈徳島県退職者連合役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	小笠原幸雄	ＮＴＴ労組退職者の会徳島県支部協議会
副会長	宮本剛	ＵＡゼンセン友の会徳島県支部
〃	澁谷良臣	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	近藤啓治	日本郵政グループ労働組合徳島県連絡協議会
〃	八木由利子	全日本自治体退職者会徳島県本部
事務局長	山藤正義	林野関連退職者の会徳島県支部
事務局次長	坂尾直也	徳島県労働金庫退職者会
幹事	福井英利	徳島県退職教職員協議会
〃	四宮通治	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	松本隆之	たばこ退職者の会徳島地区連絡会
〃	坂本忠成	ＮＴＴ労組退職者の会徳島県支部協議会
〃	鏡和博	農林水産省徳島退職会協議会
〃	青山紘一	徳島バス労働組合退職者会
〃	国見聖	徳島造船・新来島ドック徳島工場退職者の会
〃	河野功	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	香川満平	全国山林労働組合徳島県本部退職者会
会計監査	橋本保子	徳島県退職教職員協議会
〃	小濱綾子	徳島県退職女性教職員の会

NPO法人 徳島労働安全衛生センター

新年のごあいさつ

ＮＰＯ法人
徳島労働安全衛生センター
理事長　新　居　良　雄

2017年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、NPO法人徳島労働安全衛生センターの活動に対し深いご理解とご支援を賜り誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

当センターは労働災害や職業病を未然に防止するため、労働者の安全と健康に関する調査、相談、教育、啓発事業、衛生管理者の育成等々の活動を展開しています。

昨年4月に発生した熊本地震や数次にわたる台風では、多くの人命が失われ、甚大な被害がもたらされました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、我が国の労働災害は、関係者の努力により、長期的には減少してきており、死亡災害は、2015年に初めて千人を下回りました。しかし、2016年に入り、製造業における死亡災害が増加するとともに、第三次産業を始め労働災害が2015年を上回る状況にあります。

これらの背景には、労働人口の高齢化、急速な世代交代の進行による現場力の低下、若年層の危険認識の希薄化、雇用形態の多様化などに伴い、安全衛生教育、リスクアセスメント、危険予知活動などの安全衛生活動が低下している面があるのでないかと懸念されています。

また、職場におけるメンタルヘルス不調や過重労働、化学物質を原因とする健康障害といった課題に対しては、改正労働安全衛生法により創設されたストレスチェック制度や化学物質のリスクアセスメントを確実に実施するとともに、その効果的な活用が重要であります。

このような状況のもと、労働災害などの悩み相談ダイヤルを開設し（労働災害、メンタルヘルス、石綿、職業病）又、事業場における衛生管理を適切に進めていくためには、事業場における衛生管理スタッフが作業環境管理、作業管理、健康管理等の衛生管理に関する十分な知識を有していることが不可欠です。

NPO法人徳島労働安全衛生センターでは、事業主による自主的な労働災害防止活動へのサポートを通じて安全衛生水準の向上に寄与するため、「人財育成」、「技術サービス」「情報発信」の側面から各種事業を積極的に展開しております。

企業内に衛生管理者育成を目的に、昨年も「安全･衛生管理者」第17期養成講座も実施し「第一種衛生管理者国家試験」に対し素晴らしい成果を残しました。

本年も、労働者の安全と健康を守るため当センターの業務運営に対しまして、益々のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〈2016年度役員〉

役職名	氏名
理事長	新居　良雄
副理事長	島　　和久
〃	藤岡　一雄
〃	鎌谷　浩司
〃	原田　俊彦
専務理事	田北　光広
理事	柊　　保博
〃	吉野　泰甲
〃	尾田　良明
〃	矢鳴　浩一
〃	林　　善章
〃	田村　敬一
〃	広田　拓也
〃	下　　則子
〃	川口　誠二
〃	井内　　猛
監事	後藤　和昭
〃	岩生　大治

一般社団法人 徳島県就職支援機構

新年のご挨拶

一般社団法人 徳島県就職支援機構
理事長　辻　　博　史

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、「一般社団法人徳島県就職支援機構」に対して、ご協力とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、現在の状況は、社会的には「格差と貧困」という一言で表せます。また、政治的には、「平和と民主主義」の危機が続いていると言われています。

こうしたなかで、労働者福祉運動の課題は言うまでもなく「格差と貧困」にどう対応していくかです。

求職者雇用支援事業においても、受講者の応募状況が引き続き減少傾向に有ります。当機構では基本を求職者雇用支援に置いて、主に介護に従事する県民の講座・求職支援を行っています。

今年度も下記の事業を推進していきますのでご支援をお願い申し上げます。

1. 求職者に対しての再就職推進事業
2. 基金訓練事業等
3. 就労へ向けた人材支援事業
4. 物品賃貸事業

〈2016年度役員〉

役職名	氏名
理事長	辻　　博史
理事	久積　育郎
〃	川越　敏良
〃	中村　昌宏
監事	枋谷　　旭

ＮＰＯ法人 壮　生

新年のごあいさつ

ＮＰＯ法人壮生
理事長　中　村　昌　宏

2017年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、わたくしども「NPO法人 壮生」に対しましてご支援、ご協力を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、わが国におきましては昨年実施の国勢調査で初めて人口減少（96万人）が判明しました。わが徳島県の人口はさらに減少が激しく、75万人の大台割れとなりました。そうした中、平均寿命は世界のトップクラスを維持し、高齢化率は全国平均の26.7%に対して本県は31.2%と30%台に突入しました。また、県民の所得格差はジニ係数から見て全国平均以上に拡大しております。空き家比率は四国4県が揃って全国上位を占めており、全国の一人暮らしの世帯は全世帯の31.2%にも達しております。このように過疎化、高齢化、格差拡大、孤独・孤立化が急速に進行しております。

そうした中にあって、わたしたちの壮生では高齢者就労支援をベースとしながら、高齢者健康づくりサポート事業、高齢者ITサポート事業、高齢者と子どもの交流事業、まちづくり推進事業等を実施し、輝くシニアライフのサポートを目指して頑張っております。今期は「ひとり暮らしをひとりぼっちにさせないを支援するプロジェクト」による共生ネットワークとシニアの居場所づくりを提案し、「ハートフルゆめ基金とくしま」から助成対象団体に選ばれました。また阿波銀行福祉基金からも助成金をいただきました。

わたしたちは地域包括ケアシステム構築に向けて可能な範囲で努力すると共に、引き続き諸事業を継続して参りますので、皆様方の一層のご指導、ご協力をお願いいたしまして年頭のご挨拶といたします。

〈2016年度役員〉

役職名	氏名
理事長	中村昌宏
副理事長	前田すづ子
専務理事	元川仁
理事	久積育郎
〃	井上みち代
〃	村田知江美
〃	国見聖
〃	辻博史
〃	樫原資訓
〃	佐伯雅子
監事	清田敏弘
〃	坂尾直也

地域ライフサポートセンター

徳島中央ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、徳島中央ライフサポートセンターの諸事業に格段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターは、ワンストップサービスの拠点として、関係団体とのネットワークにより「暮らしなんでも無料相談」、日々の暮らしに役立つ情報の提供など地域福祉や労働者福祉の向上を目指した様々な事業を行い、地域住民はじめ県民の皆様の生活をサポートしています。

昨年の活動としては、恒例となりました「キウイ収穫体験祭り」を１１月に佐那河内村の果樹オーナー園で行いました。当日は、素晴らしい晴天のもと多くの方がキウイ収穫を体験し、抽選会や直産市を楽しみました。

また、スマホやパソコンをお年寄りから小学生まで利用するネット社会の今日、様々な被害が発生しています。市民の皆様が被害に遭わない「転ばぬ先の杖」ではありませんが、ネット社会を安全に、安心して生活頂きたいとの思いから「ネット社会を安全・安心に!!」講演会を開催しました。

講師の話から「疑問に思ったり、変だなと思ったときは電話しない。返事をしないで電話を切る。困ったときは《徳島県消費者情報センター》へ相談する。」とアドバイスがありました。

更に、平和や人権問題、国際交流にも積極的に取り組んだところです。

本年も、地域住民との結びつきを強め、地域から期待される「ワンストップサービス」機能の充実に努めてまいりますので、格別のご支援、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島中央ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	所属団体
会長	宮本武司	徳島地域代表
副会長	大久保達夫	四国労金徳島営業本部
〃	渡邉一雅	全労済徳島県本部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	元川仁	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	松本光弘	徳島地域代表
〃	小谷正勝	北部地域代表
〃	尾田賢治	中部地域代表
事務局長	川西貞之	専従
理事	遠藤好人	四国労金徳島北支店
〃	板東啓太郎	四国労金鴨島支店
〃	鴻池達也	徳島地域代表
〃	賀川健一	北部地域代表
〃	青山広樹	徳島地域代表
〃	河野雅博	中部地域代表
〃	坂尾直也	ＮＰＯ法人壮生
監事	谷本智	徳島地域代表
〃	松木淳	北部地域代表

徳島西部ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は徳島西部ライフサポートセンターの活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

当センターでは、働く者の環境や雇用を守り、生活に安心を取り戻す取組みが重要と考え、幅広い勤労者層と地域社会に根ざす「労働と生活」をサポートする運動体として様々な活動を展開しています。その一例として、生活困窮者自立支援法の成立に伴い生活困窮者支援事業を行っています。昨年もつるぎ町と東みよし町の就労支援活動に取り組み、多方面の機関との連携を行い、情報の共有化を図りました。他にも、法律相談やニート相談等の相談業務、スポーツ少年団支援や着ぐるみ貸出事業、エコ活動等も実施しました。

7月24日には、夏の恒例行事である「夏休みフェスティバル」を無事に開催することが出来ました。639名が一堂に会し、アメゴつかみ取りを体験しました。自然と触れ合い楽しむ親子の姿がたくさんあり、またラッキー抽選会は一喜一憂で大盛り上がりでした。

また、11月13日には10回目の「ゆとり・癒しのウォーキング～紅葉と温泉の祖谷渓谷～」を行いました。当日は気温も高く絶好のウォーキング日和の中、106名が祖谷の紅葉を眺めながら歩き、かずら橋や温泉を楽しみ、ゆとりと癒しのある一日を過ごしていただきました。

本年も「目に見える活動」をテーマとして、再点検、再構築しながら活動を進めて参りますので、格別のご支援、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島西部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	職場
会長	大西　茂	三好市職員労働組合連合会
副会長	今治　五百合	四国労働金庫池田支店長
〃	渡邊　一雅	全労済徳島県本部専務執行役員
〃	秋山　光夫	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
事務局長	蔦　泰見	連合徳島専従
理事	南　馨	日本郵政グループ労働組合徳島西支部
〃	逸見　秀夫	阿波みよし農協職員労働組合
〃	赤窄　政治	四国交通労働組合
〃	山田　和則	四国電力労働組合池田支部
〃	新居　良雄	フレッセ
〃	辰巳　麻衣	徳島県病院局職員労働組合三好病院支部
〃	盛　治男	徳島県職員労働組合三好支部
〃	出口　祐二	徳島県職員労働組合美馬支部
〃	井口　明典	美馬市職員労働組合連合会
〃	田岡　和記	つるぎ町職員労働組合
〃	鈴木　圭吾	三好市職員労働組合連合会
〃	小泉　勝文	東みよし町職員労働組合
〃	矢藤　寿浩	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
監事	満寿川　誠	美馬農協職員労働組合
〃	中川　陽子	四国労働金庫労働組合徳島県支部池田分会

徳島南部ライフサポートセンター

新年あけましておめでとうございます。

昨年は徳島南部ライフサポートセンターの諸事業に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今、国の経済政策は必ずしもその効果を国の全体に行き渡らせるところまで至らず、むしろ様々な格差がより拡大する傾向を引き起こしております。

私たちは、暮らし全般に関わる支援活動を行うことにより、勤労者などの暮らしに関する不安を解消し、生活の安定と地域福祉の向上を目的とする活動を行う組織として設立されましたが、老若男女を問わず今日・明日の生活さえままならないというような社会構造の急激な変化が進む中で、任務の一層の重要性と同時にその困難性を痛感する毎日です。

本年も微力ながら「生きがい・やりがい・働きがいを求める人たちのために、色々な角度や形でのサポートが必要だ」との認識をより一層強く持ちながら、「なんでも相談」や「運転免許特別講座」「パソコン教室」などの講座のサポート、各種イベントの開催と協賛、エコ運動の推進、などの活動を進めていきたいと考えます。そのためには、地域の方々の認知度を高めながら、労働福祉団体やＮＰＯ、社会的資源などの活用と連携が不可欠です。

今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

＜徳島南部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	所属団体
会長	松村　淳	自治労阿南市職労連
副会長	宮田　義文	ＪＰ労組徳島南支部
〃	坂東　淳	新日本電工労組徳島支部
〃	山本　真史	四国労働金庫阿南支店
〃	渡邉　一雅	全労済徳島県本部
〃	森口　芳洋	フレッセ阿南支部
〃	川原　佳子	徳島県勤労者福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ
事務局長	山本　日出夫	専従
理事	葉田　博章	紙ﾊﾟ連合王子新労富岡支部
〃	長尾　真司	四国電労阿南火力支部
〃	谷本　修司	倉敷紡績労組徳島支部
〃	前田　淳	自治労阿南市職労連
〃	大西　弘二	全農林徳島分会
〃	新田　洋二	自治労那賀町職
〃	榊　一美	自治労美波町職
〃	丸岡　義謙	全国一般柏涛会支部
〃	遠藤　伸輔	阿南農協労組
〃	田北　光広	NPO法人徳島労働安全衛生センター
会計監査	江上　和宏	新日本電工労組徳島支部
〃	清水　昇	自治労徳島県職
書記	生原　ひろみ	専従

新春お年玉プレゼント!!

問題　**松●美佐紀**

高橋礼華とのペアが「タカマツ」の愛称で知られる2016年リオデジャネイロオリンピックで日本のバトミントン史上初となる金メダルを獲得した徳島県出身の選手は？
(◯に当てはまる漢字１文字をお答えください)

正解者の中から抽選で30名様に**図書券**（1,000円）を**プレゼント**します。

応募方法　官製ハガキまたはＦＡＸ用紙に解答を書いて、下記あて先まで送付して下さい。その際、住所、氏名を必ずお書き下さい。

応募締切日　2017年1月末日

送付先　〒770-0942　徳島市昭和町3丁目35−1
(公社) 徳島県労働者福祉協議会
お年玉プレゼント係　FAX 088-625-5113

※記入された個人情報等はプレゼント発送以外の目的では使用しません。

住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済
新火災共済・新自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

安心金利のローンや便利で手数料いらずのATM。
知れば知るほど、ろうきんって使える。
ほかにもいいことありそう。
休日も相談にのってくれるところがあるとか。
こんど行ってみよっと。

けっこう使える。ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん

発　行　公益社団法人　**徳島県労働者福祉協議会**
徳島市昭和町3丁目35-1（わーくぴあ徳島 内）
TEL（088）625-8387・FAX（088）625-5113
URL http://www.tokushima-rofuku.net/
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人　川　越　敏　良
印　刷　者　(有)フォトプリント白石